

県内の景気動向

概況（2015年10月）

景気は、拡大の動きが強まる

消費関連では、スーパーが前年を上回る

観光関連では、入域観光客が前年を上回る

10月の県内景気をみると、消費関連では、百貨店は催事効果などから引き続き前年を上回り、スーパーは、前年より営業日数が多かったことなどから引き続き前年を上回った。耐久消費財では、新車販売は軽自動車の動きが鈍かったことなどから引き続き前年を下回った。電気製品卸売は、高単価商品が好調だったことなどから前年を上回った。

建設関連では、公共工事は国発注工事の増加や都市再発事業から前年を上回った。建築着工床面積（9月）は前年を上回り、新設住宅着工戸数（9月）も貸家の増加などから引き続き前年を上回った。建設受注は、公共工事、民間工事ともに増加したことから前年を上回ったが、資材関連は前年を下回った。

観光関連では、入域観光客数は、国内客、外国客ともに大幅に増加したことから、引き続き前年を上回った。主要ホテルでは、売上高、宿泊収入、稼働率ともに前年を大幅に上回った。

総じてみると、消費関連、観光関連が好調に推移し、建設関連も概ね好調なことから、県内景気は拡大の動きが強まっている。

消費関連

百貨店売上高は、催事効果や販促効果などにより18カ月連続で前年を上回った。スーパー売上高は、営業日数や休日数が前年より多かったことや外国人観光客の消費が好調なことより7カ月連続で前年を上回った。新車販売は、引き続き軽自動車の動きが鈍く3カ月連続で前年を下回った。電気製品卸売販売額は、新商品などの高単価の商品などが好調だったことより2カ月連続で前年を上回った。

先行きは、高い消費マインドや観光客の増加などから引続き好調を維持するとみられる。

建設関連

公共工事請負金額は、国や都市再開発事業の大型工事発注により2カ月ぶりに前年を上回った。建築着工床面積（9月）は、5カ月連続で前年を上回った。新設住宅着工戸数（9月）は、貸家の増加などにより5カ月連続で前年を上回り、引き続き高水準で推移している。県内主要建設会社の受注額は、公共工事、民間工事ともに増加したことから2カ月連続で前年を上回った。建設資材関連では、セメント、生コンは反動減などにより前年を下回り、鋼材、木材も住居関連工事向け出荷の減少などからともに前年を下回った。

先行きは、公共工事や新設住宅着工が高水準で推移することが予想され、引き続き概ね好調な動きが続くものとみられる。

観光関連

入域観光客数は、37カ月連続で前年を上回った。国内客は2カ月連続で増加し、外国客は27カ月連続で前年を上回った。方面別では東京、韓国、関西、中国本土などからの入域が観光客数増加に寄与した。

県内主要ホテルは、稼働率、売上高、宿泊収入、宿泊客室単価いずれも前年を上回った。主要観光施設入場者数は20カ月連続で前年を上回った。ゴルフ場は、入場者数、売上高ともに3カ月連続で増加した。

先行きは、外国客を中心とした旺盛な旅行需要を背景に好調に推移するものとみられる。

雇用関連

新規求人数（9月）は、前年同月比1.6%減と10カ月ぶりに前年を下回ったが、有効求人倍率（季調値）は、0.88倍と前月より0.02ポイント上昇し、本土復帰後の最高値を更新した。産業別にみると、生活関連サービス業・娯楽業、サービス業などは増加したが、情報通信業、宿泊業・飲食サービス業などで減少した。完全失業率（季調値）は5.1%と前月より0.5%ポイント悪化した。

その他

消費者物価指数（総合、9月）は、食料や教養娯楽などが上昇したが、交通・通信や光熱・水道などが下落したことから、前年同月比0.2%減と28カ月ぶりに前年を下回った。

企業倒産は、件数が3件で前年同月を8件下回った。負債総額は3億3,300万円となり、同57.0%の減少であった。

りゅうぎん調査（2015年10月）

増減率(%)

| | 前年同月比 | 前年同期比 (2015.8-2015.10) |
|------------------------------|--------------|---------------------------|
| 1. 消費関連 | | |
| (1) 百貨店(金額) | 12.3 | 20.3 |
| (2) スーパー(既存店)(金額) | 3.2 | 4.2 |
| (3) スーパー(全店)(金額) | 6.4 | 7.3 |
| (4) 新車販売(台数) | ▲ 6.1 | ▲ 5.2 |
| (5) 電気製品卸売(金額) | 13.8 | 2.4 |
| 2. 建設関連 | | |
| (1) 公共工事請負金額(金額) | 74.7 | 24.5 |
| (2) 建築着工床面積(m ²) | (9月) 16.5 | (7-9月) 23.7 |
| (3) 新設住宅着工戸数(戸) | (9月) 17.4 | (7-9月) 17.6 |
| (4) 建設受注額(金額) | 58.9 | 44.9 |
| (5) セメント(トン数) | ▲ 0.2 | 5.1 |
| (6) 生コン(m ³) | ▲ 5.9 | 2.3 |
| (7) 鋼材(金額) | ▲ 11.5 | ▲ 14.1 |
| (8) 木材(金額) | ▲ 14.2 | ▲ 10.7 |
| 3. 観光関連 | | |
| (1) 入域観光客数(人数) | 18.9 | 12.2 |
| うち外国客数(人数) | 54.7 | 61.7 |
| (2) 県内主要ホテル稼働率 | (前年同月差) 8.8 | (前年同期差) 3.8 |
| | (実数) 84.9 | (実数) 87.1 |
| (3) " 売上高(金額) | 17.9 | 11.1 |
| (4) 観光施設入場者数(人数) | 13.6 | 10.1 |
| (5) ゴルフ場入場者数(人数) | 21.3 | 10.0 |
| (6) " 売上高(金額) | 25.0 | 11.9 |
| 4. その他 | | |
| (1) 県内新規求人数(人数) | (9月) ▲ 1.6 | (7-9月) 6.2 |
| (2) 有効求人倍率(季調値) | (実数、9月) 0.88 | (実数、7-9月) 0.86 |
| (3) 消費者物価指数(総合) | (9月) ▲ 0.2 | (7-9月) 0.1 |
| (4) 企業倒産件数(件数) | (前年同月差) ▲ 8 | (前年同期差) ▲ 2.7 |
| (5) 広告収入(県内マスコミ)(金額) | (9月) ▲ 3.3 | (7-9月) ▲ 1.6 |

(注1) 公共工事請負金額は西日本建設業保証株式会社沖縄支店調べ。建築着工床面積、新設住宅着工戸数は国土交通省調べ。県内新規求人数、有効求人倍率は沖縄労働局調べ。入域観光客数、消費者物価指数は沖縄県調べ。企業倒産件数は東京商工リサーチ沖縄支店調べ。Pは速報値。

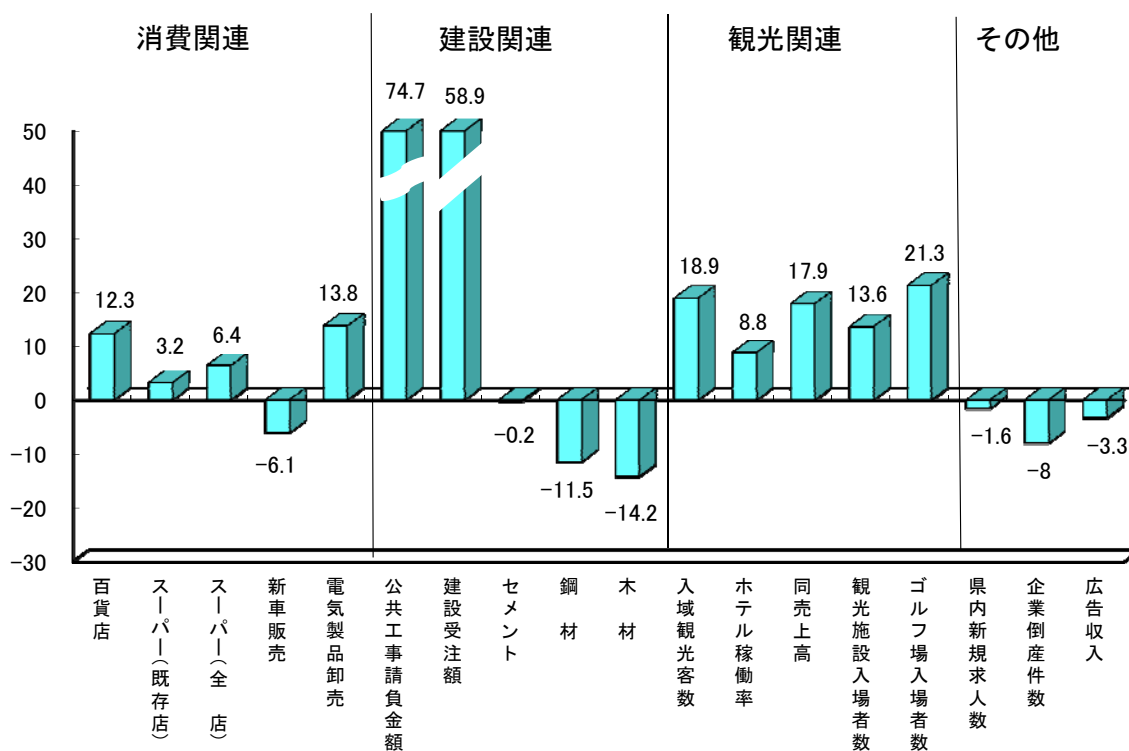
(注2) 百貨店は、2014年9月より調査先が一部変更となった。

(注3) 2012年5月より外国客の入域観光客数を掲載した。

(注4) 主要ホテルは、2014年10月より調査先を25ホテルから27ホテルとした。

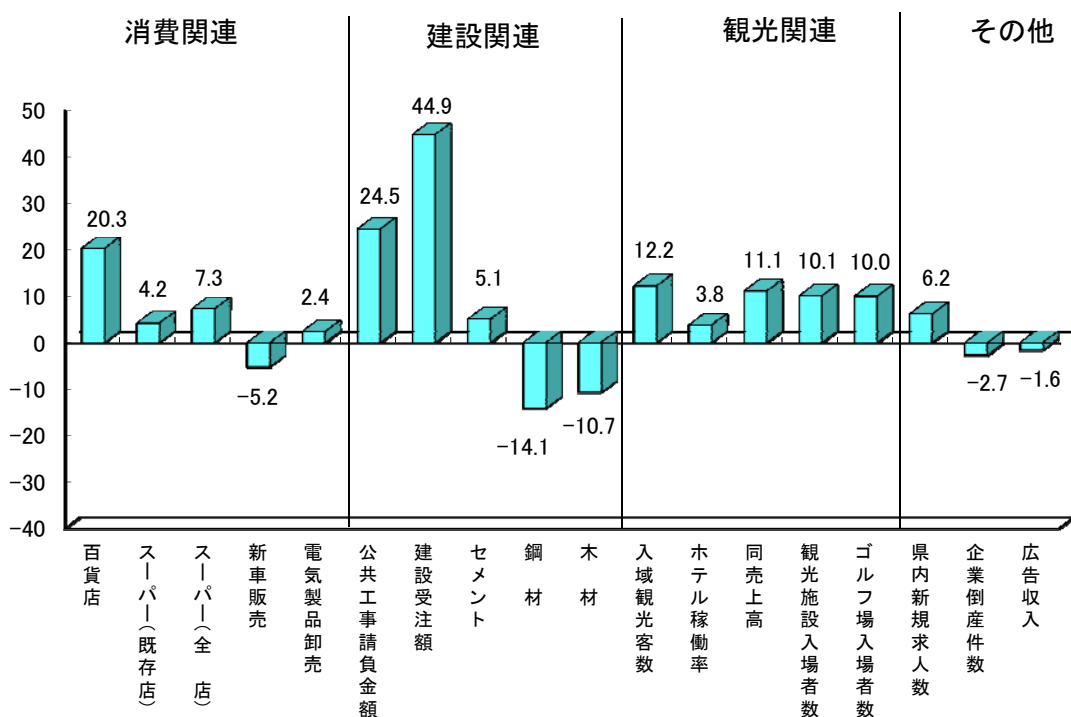
(注5) 企業倒産の前年同月差は、月平均の前年同月差。

項目別グラフ(単月、2015年10月)



(注) 県内新規求人数、広告収入は15年9月分。数値は前年比(%)。
 ホテル稼働率(%ポイント)、企業倒産件数(件)は前年差。

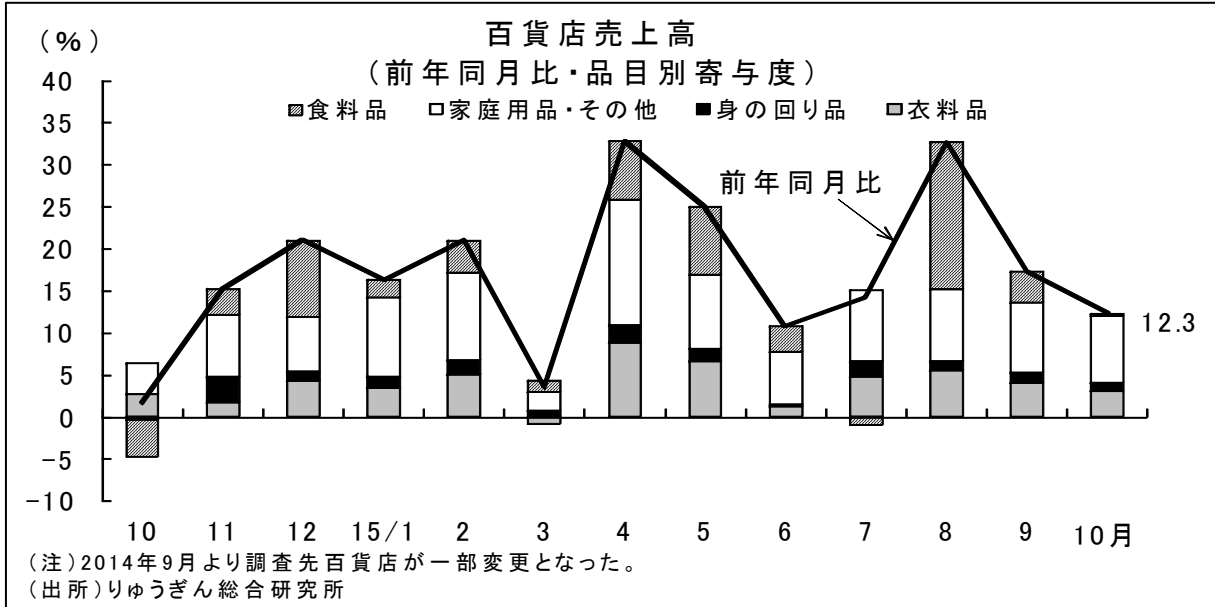
項目別グラフ(3カ月、2015年8月~10月)



(注) 県内新規求人数、広告収入は15年7月~9月分。数値は前年比(%)。
 ホテル稼働率(%ポイント)は前年差。企業倒産件数(件)は月平均の前年差。

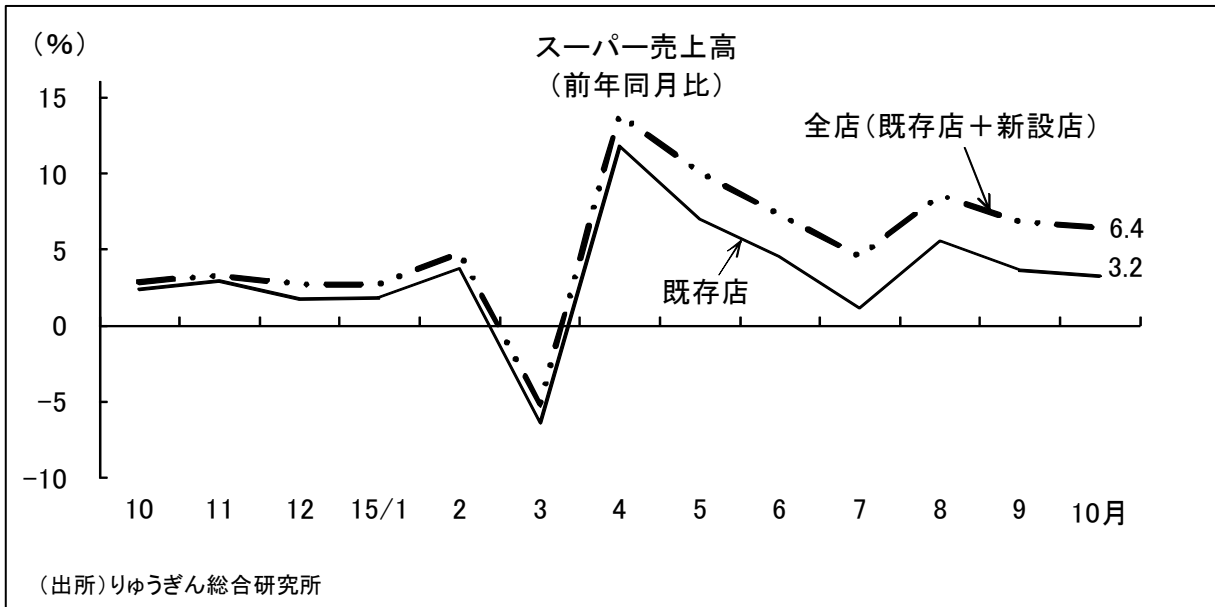
1. 消費関連

(1) 百貨店売上高：18カ月連続で増加



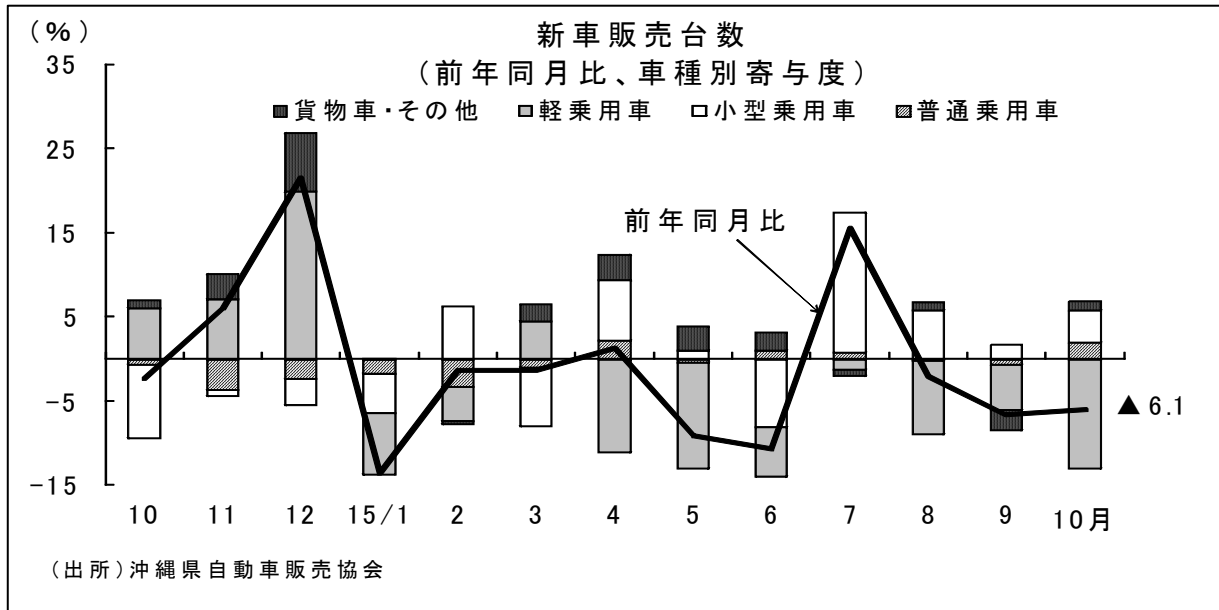
- 百貨店売上高は、催事などにより全館への回遊効果がみられ、前年同月比 12.3%増と 18 カ月連続で前年を上回った。衣料品は、催事効果や販促効果などにより秋物商品などが好調に推移した。食料品は堅調に推移し、身の回り品や家庭用品・その他は催事効果や外国人観光客による消費が好調なことなどから増加した。
- 品目別にみると、食料品 (同 1.5%増)、衣料品 (同 8.1%増)、家庭用品・その他 (同 25.2%増) 身の回り品 (同 10.8%増) と全品目で増加した。

(2) スーパー売上高：全店ベースは7カ月連続で増加



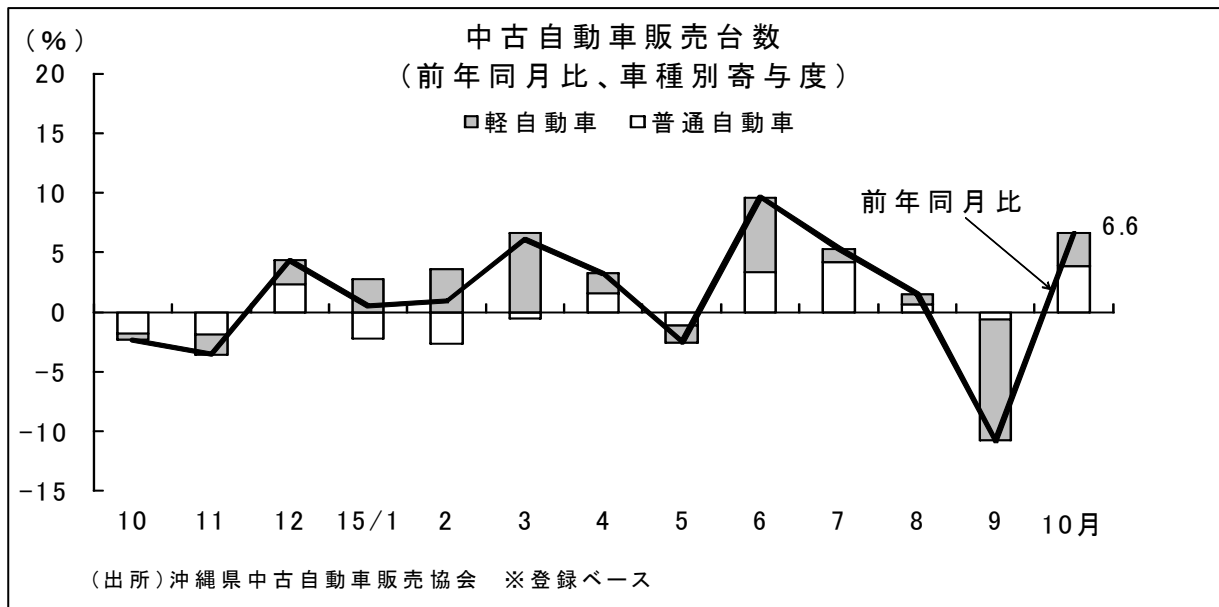
- スーパー売上高は、既存店ベースでは前年同月比 3.2%増と 7カ月連続で前年を上回った。
- 食料品は、前年は台風に伴う休業があり、営業日数が多かったことより同 1.7%増となった。衣料品は、前年より営業日数や休日が一日多かったことより秋・冬物商品が好調に推移し同 6.5%増となった。家電を含む住居関連は外国人観光客の消費が好調なことから同 9.0%増だった。
- 全店ベースでは 6.4%増と 7カ月連続で前年を上回った。

(3) 新車販売台数：3カ月連続で減少



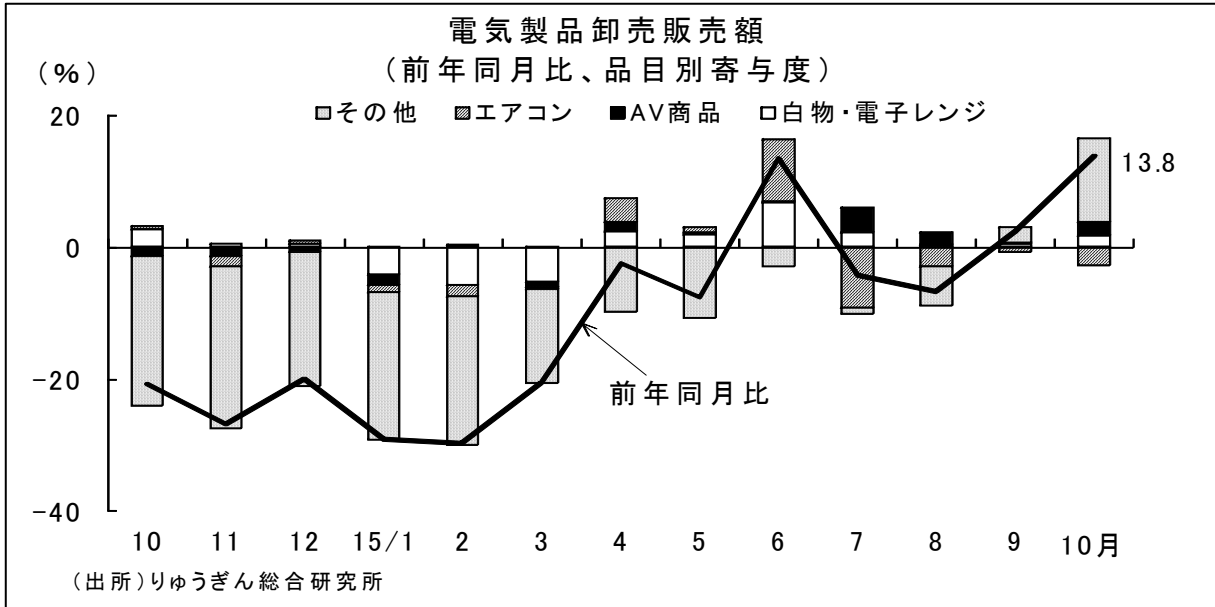
- ・ 新車販売台数は 2,961 台となり、前年同月比 6.1%減と 3 カ月連続で前年を下回った。普通自動車は前々年に新型車投入効果などで需要が伸び、前年が落込んだことによる反動増となったが、軽自動車は販売の動きが鈍く前年を下回った。
- ・ 普通自動車（登録車）は 1,259 台（同 23.3%増）で、うち普通乗用車は 389 台（同 19.3%増）、小型乗用車は 641 台（同 23.5%増）であった。軽自動車（届出車）は 1,702 台（同 20.1%減）で、うち軽乗用車は 1,364 台（同 23.1%減）であった。

(4) 中古自動車販売台数（登録ベース）：2カ月ぶりに増加



- ・ 中古自動車販売台数（普通自動車及び軽自動車の合計、登録ベース）は 1 万 7,647 台で前年同月比 6.6%増と 2 カ月ぶりに前年を上回った。
- ・ 内訳では、普通自動車は 6,885 台（同 10.1%増）、軽自動車は 10,762 台（同 4.5%増）となった。

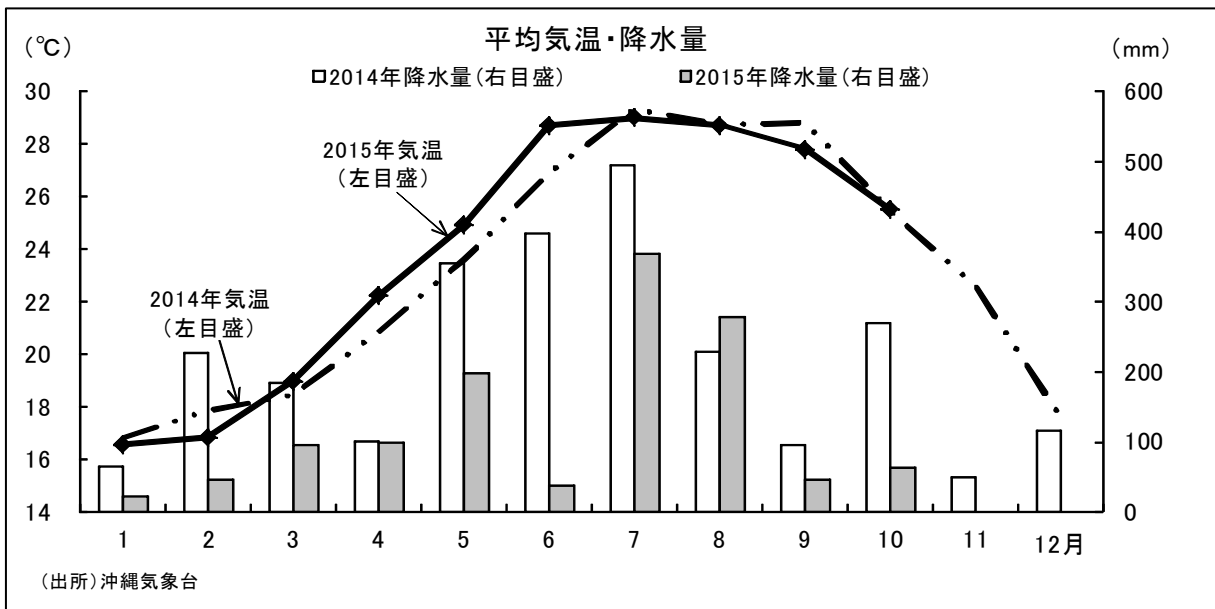
(5) 電気製品卸売販売額：2カ月連続で増加



- ・ 電気製品卸売販売額は、冷蔵庫やテレビなどの高単価商品の販売が好調だったことなどから前年同月比 13.8%増と2カ月連続で前年を上回った。
- ・ 品目別にみると、AV商品ではテレビが同 26.4%増、DVDレコーダーが同 3.9%増、白物では洗濯機が同 6.9%増、冷蔵庫が同 15.1%増、エアコンが同 30.8%減、太陽光発電システムを含むその他は同 21.2%増となった。

(参考)

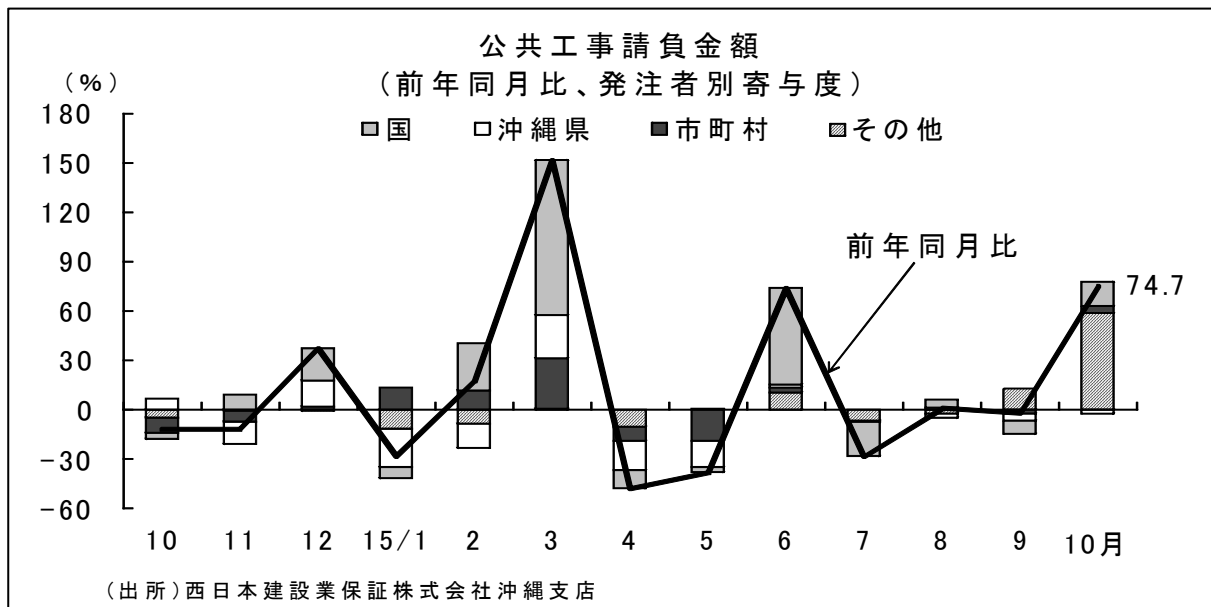
◇ 気象:平均気温・降水量 (那覇)



- ・ 平均気温は 25.5°Cとなり、平年 (25.2°C)、前年同月 (25.4°C) より高かった。降水量は 63.5 mmと前年同月 (269.0mm) より少なかった。
- ・ 沖縄地方は、概ね高気圧に覆われて晴れる日が多く、降水量は少なかった。中旬前半は大陸からの冷たい空気の影響により気温は低かったが、中旬後半以降は暖かい空気に覆われ気温が上がった。

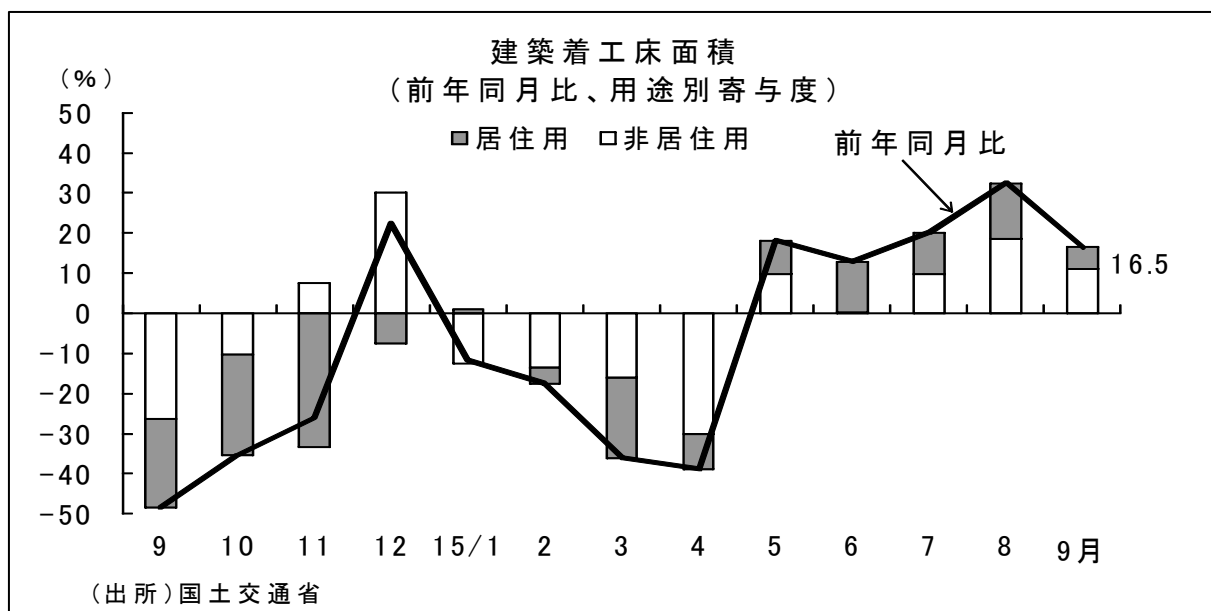
2. 建設関連

(1) 公共工事請負金額：2カ月ぶりに増加



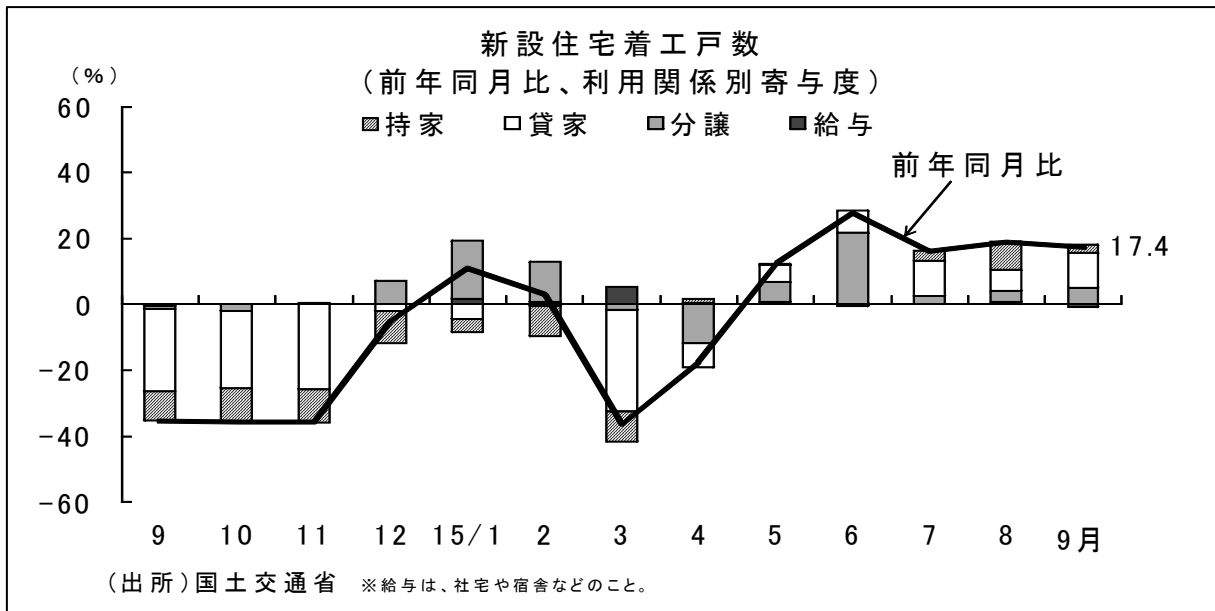
- 公共工事請負金額は、483億100万円の前年同月比74.7%増となり、国や都市開発事業の大型工事発注から大幅に増加し、2カ月ぶりに前年を上回った。
- 発注者別では、国（同67.7%増）、独立行政法人等・その他（同1,285.2%増）、市町村（同10.8%増）が増加し、県（同7.7%減）が減少した。
- 大型工事としては、与那国駐屯地新設建築工事、モノレール旭橋駅周辺地区第一種市街地再開発事業（北工区）などがあった。

(2) 建築着工床面積：5カ月連続で増加



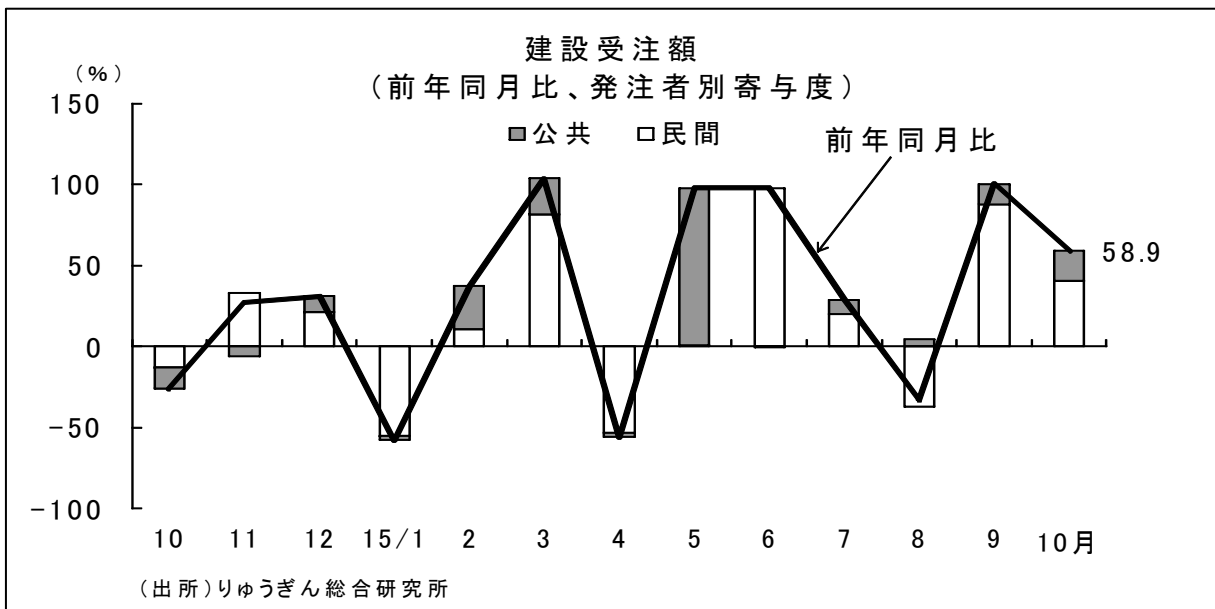
- 建築着工床面積（9月）は15万8,954㎡となり、居住用、非居住用ともに増加したことから、前年同月比16.5%増となり、5カ月連続で前年を上回った。用途別では、居住用は同8.2%増、非居住用は同33.8%増となった。
- 建築着工床面積を用途別（大分類）にみると、居住用では、居住専用は増加し、居住産業併用は減少した。非居住用では、医療、福祉用、教育学習支援業用などが増加し、金融・保険業用などが減少した。

(3) 新設住宅着工戸数：5カ月連続で増加



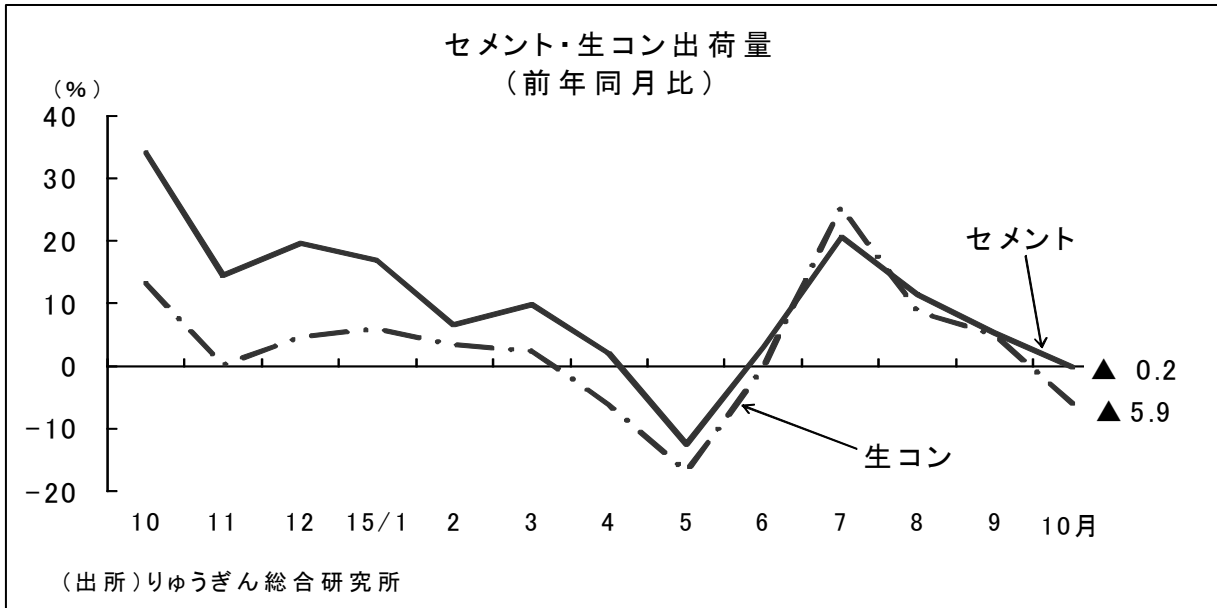
- ・ 新設住宅着工戸数（9月）は1,527戸となり、貸家、持家、分譲が増加したことから、前年同月比17.4%増と5カ月連続で前年を上回った。貸家の着工を中心に高水準で推移している。
- ・ 利用関係別では、貸家（1,117戸）が同14.2%増、持家（281戸）が同13.8%増、分譲（124戸）が同103.3%増と増加し、給与（5戸）が同66.7%減と減少した。

(4) 建設受注額：2カ月連続で増加



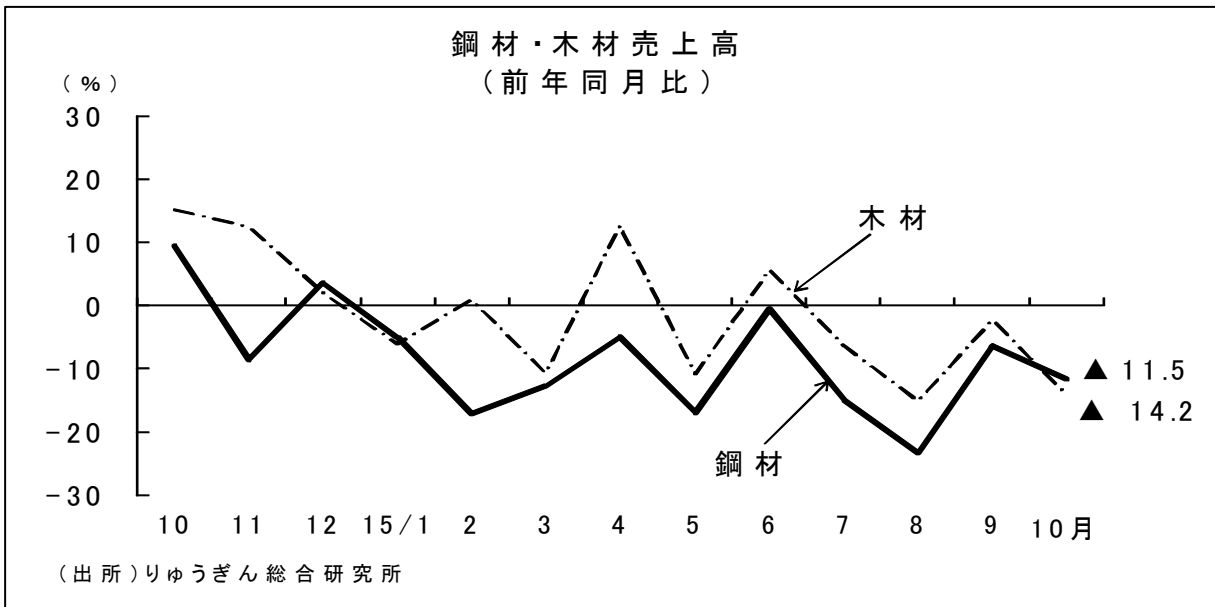
- ・ 建設受注額（調査先建設会社：20社）は、公共工事、民間工事ともに増加したことから、前年同月比58.9%増と2カ月連続で前年を上回った。
- ・ 発注者別では、公共工事（同39.0%増）は4カ月連続で増加し、民間工事（同77.1%増）は2カ月連続で増加した。

(5) セメント・生コン：セメントは5カ月ぶりに減少、生コンは4カ月ぶりに減少



- ・ セメント出荷量は8万9,233トンとなり、前年同月比0.2%減と5カ月ぶりに前年を下回った。
- ・ 生コン出荷量は16万670m³で同5.9%減となり、前年の反動減などから4カ月ぶりに前年を下回った。
- ・ 生コン出荷量を出荷先別にみると、公共工事では、公営住宅関連工事向け出荷などが増加し、県企業局や学校関連工事向け出荷などが減少した。民間工事では、分譲マンション関連工事向けなどが増加し、貸家や商業施設向け出荷などが減少した。

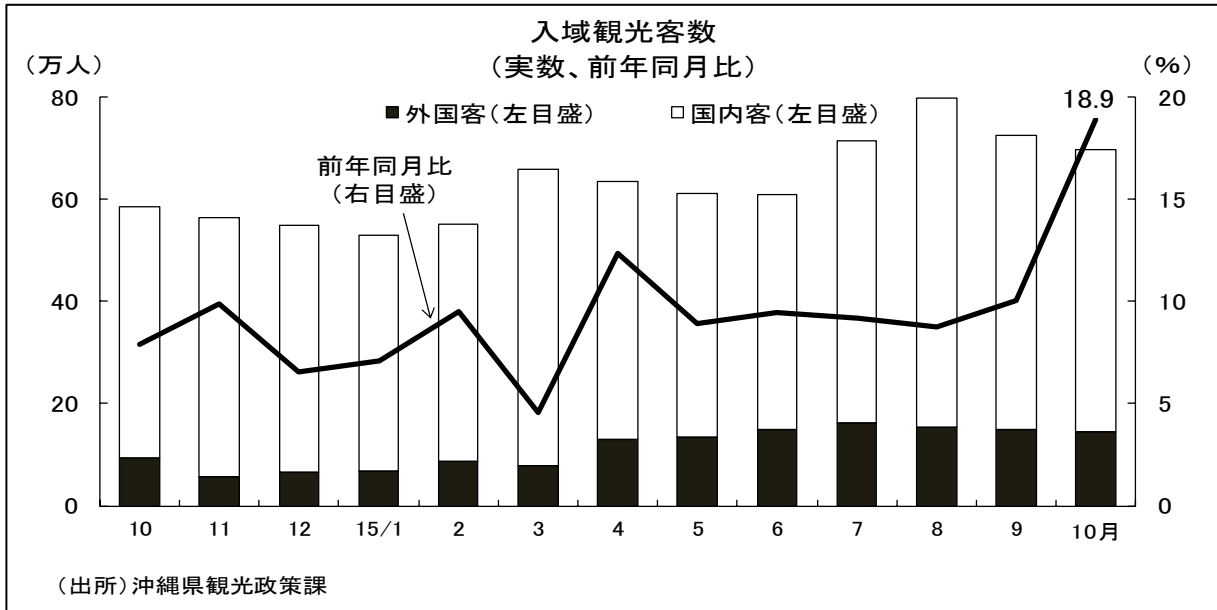
(6) 鋼材・木材：鋼材は10カ月連続で減少、木材は4カ月連続で減少



- ・ 鋼材売上高は、住宅関連工事向け出荷の減少や単価の低下などから、前年同月比11.5%減と10カ月連続で前年を下回った。
- ・ 木材売上高も、住宅関連工事向け出荷の減少などから同14.2%減と4カ月連続で前年を下回った。

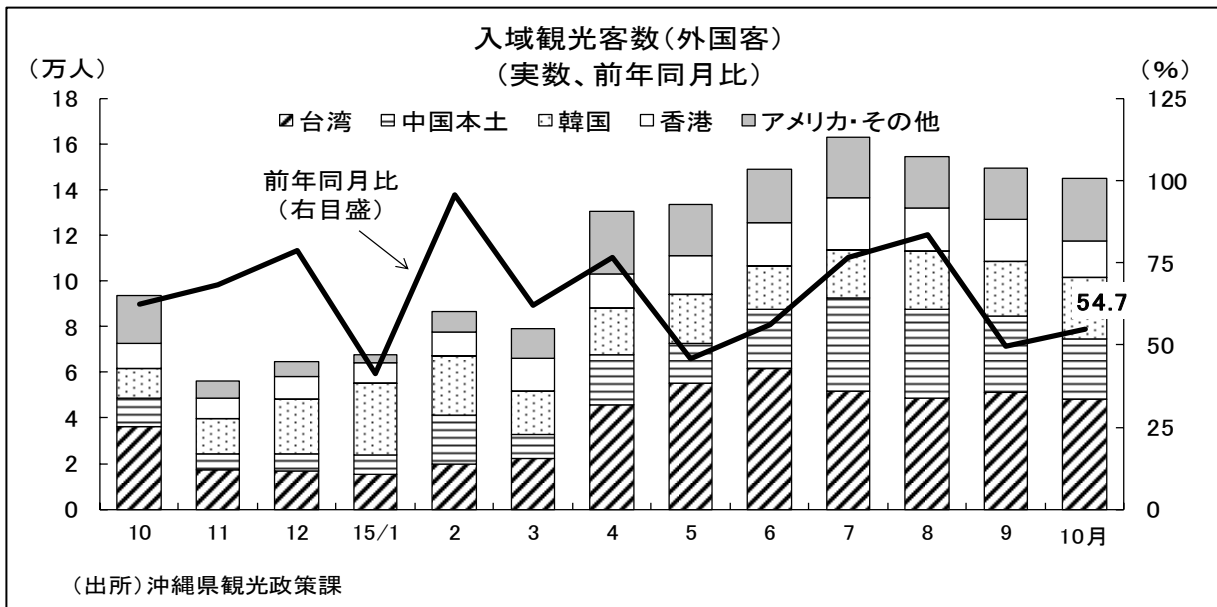
3. 観光関連

(1) 入域観光客数：37カ月連続で増加



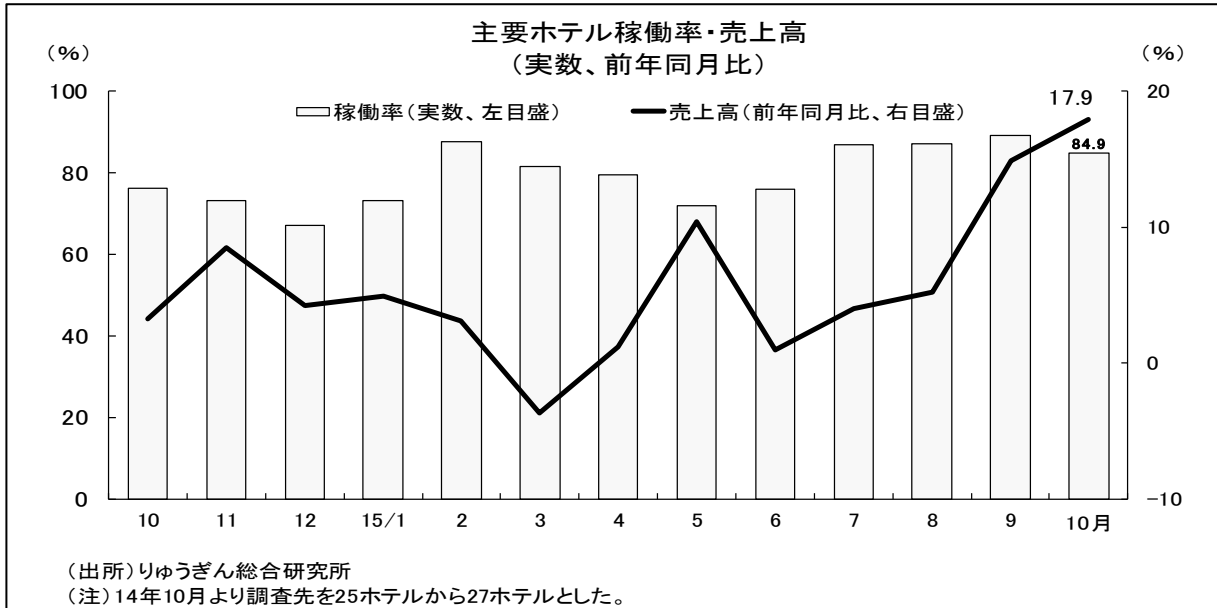
- 10月の入域観光客数は、前年同月比18.9%増の69万6,800人と、37カ月連続で前年を上回った。国内客、外国客いずれも増加した。国内客は、同12.1%増の55万1,700人となり2カ月連続で前年を上回った。
- 路線別でみると、空路は、国内客、外国客ともに増加し、65万1,300人(同17.9%増)と37カ月連続で前年を上回った。海路は、国内客、外国客ともに増加し、4万5,500人(同34.6%増)と5カ月連続で前年を上回った。

(2) 入域観光客数(外国客)：27カ月連続で増加



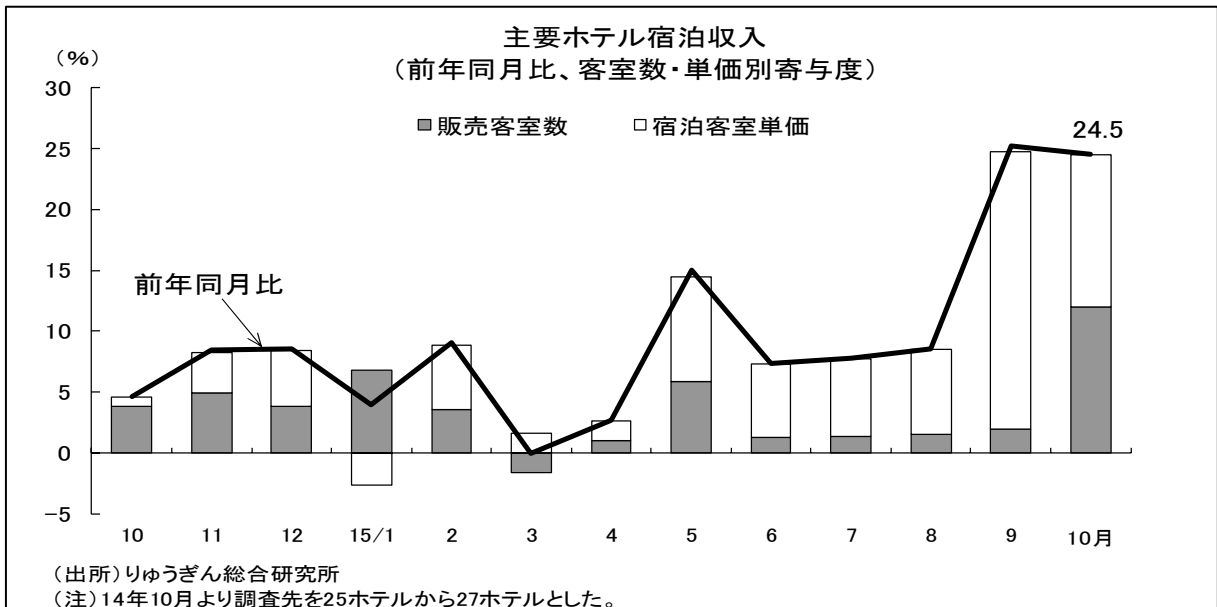
- 10月の入域観光客数(外国客)は、国慶節などの連休による旅行需要の高まりや航空路線の拡充などから前年同月比54.7%増の14万5,100人となり、27カ月連続で前年を上回った。
- 国籍別では、台湾4万8,400人(同33.7%増)、中国本土2万6,100人(同110.5%増)、韓国2万7,000人(同106.1%増)、香港1万6,200人(同47.3%増)、アメリカ・その他2万7,400人(同29.9%増)であった。

(3) 主要ホテル稼働率・売上高：稼働率は7カ月連続で上昇、売上高は7カ月連続で増加



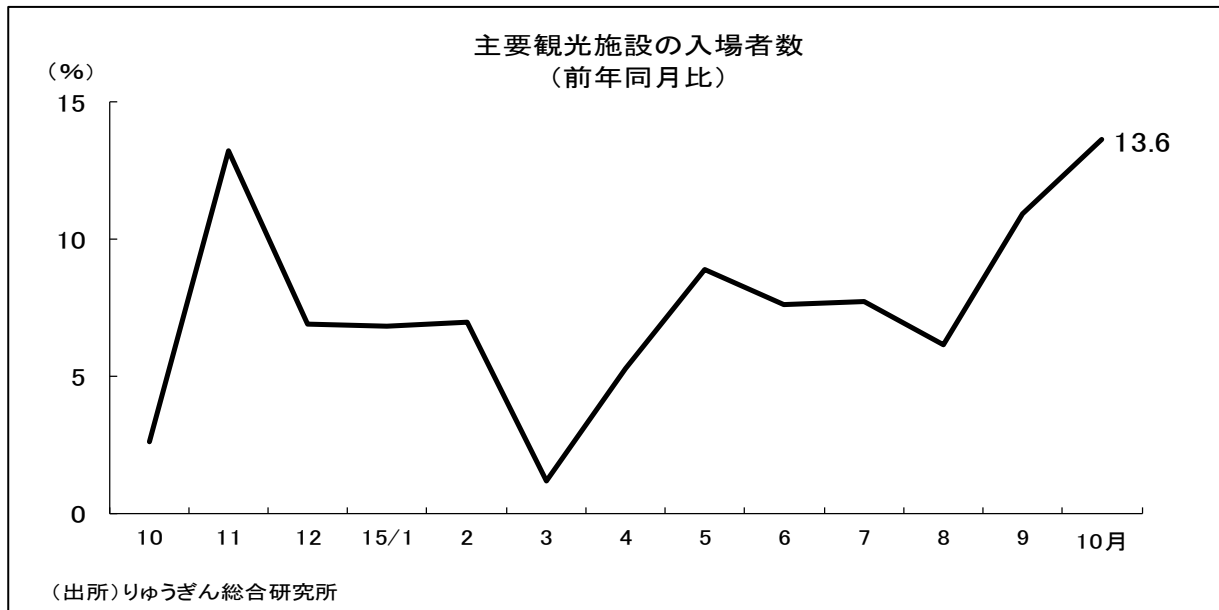
- ・ 主要ホテルは、客室稼働率は84.9%となり、前年同月比8.8%ポイント上昇し7カ月連続で前年を上回った。売上高は同17.9%増と7カ月連続で前年を上回った。
- ・ 那覇市内ホテルは、客室稼働率は82.9%と同7.4%ポイント上昇し7カ月連続で前年を上回り、売上高は同14.9%増と7カ月連続で前年を上回った。リゾート型ホテルは、客室稼働率は86.0%と同9.6%ポイント上昇し3カ月連続で前年を上回り、売上高は同19.2%増と6カ月連続で前年を上回った。

(4) 主要ホテル宿泊収入：7カ月連続で増加



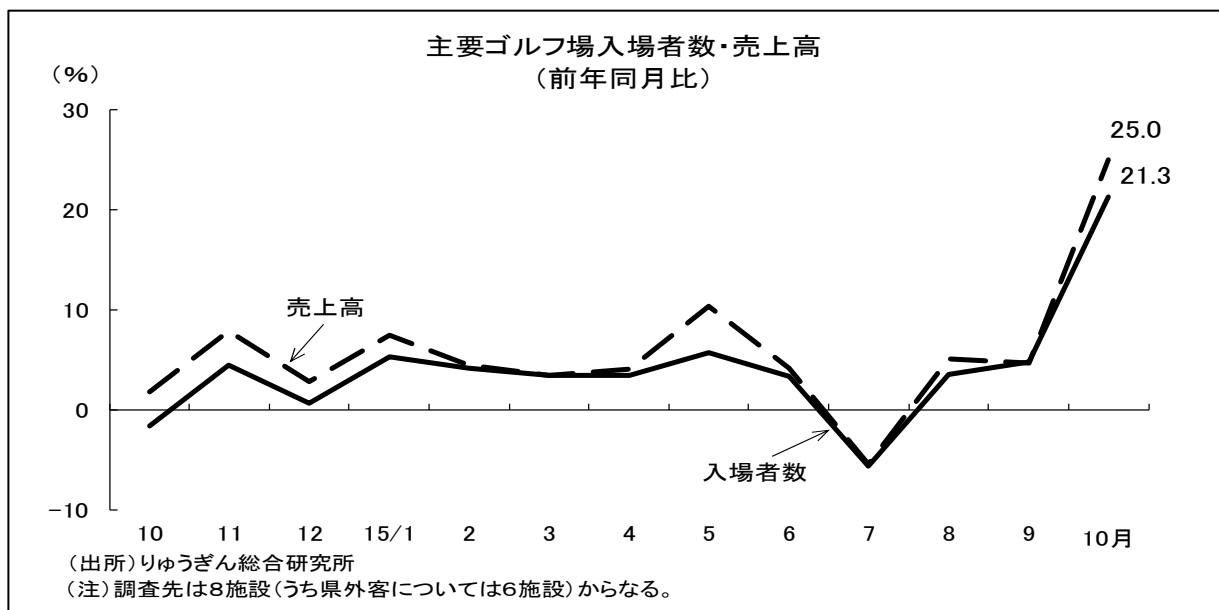
- ・ 主要ホテル売上高のうち宿泊収入は、販売客室数（数量要因）、宿泊客室単価（価格要因）いずれも増加したことから、前年同月比24.5%増と7カ月連続で前年を上回った。
- ・ 那覇市内ホテルは、販売客室数、宿泊客室単価ともに増加し、同21.1%増と20カ月連続で前年を上回った。リゾート型ホテルは、販売客室数、宿泊客室単価ともに増加し、同25.8%増と6カ月連続で前年を上回った。

(5) 主要観光施設の入場者数：20 カ月連続で増加



- 主要観光施設の入場者数は、前年同月比 13.6%増となり、20 カ月連続で前年を上回った。

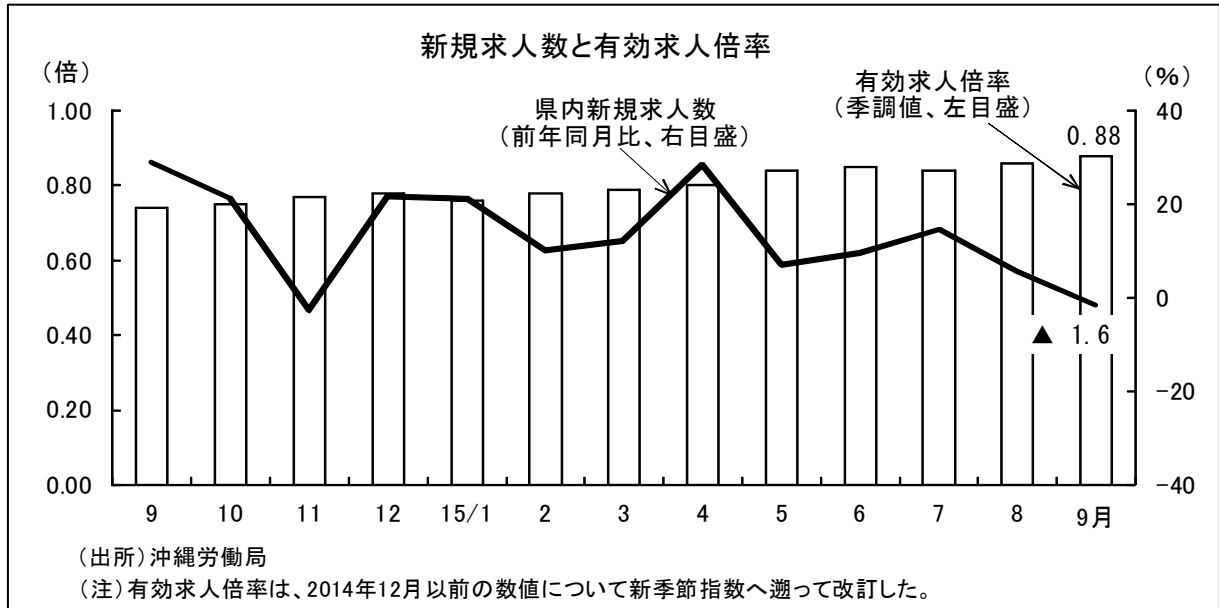
(6) 主要ゴルフ場入場者数・売上高：入場者数は3 カ月連続で増加、売上高は3 カ月連続で増加



- 主要ゴルフ場の入場者数は、県外客の増加や前年が台風の影響を受けた反動などにより前年同月比 21.3%増と 3 カ月連続で前年を上回った。
- 売上高は同 25.0%増と 3 カ月連続で前年を上回った。

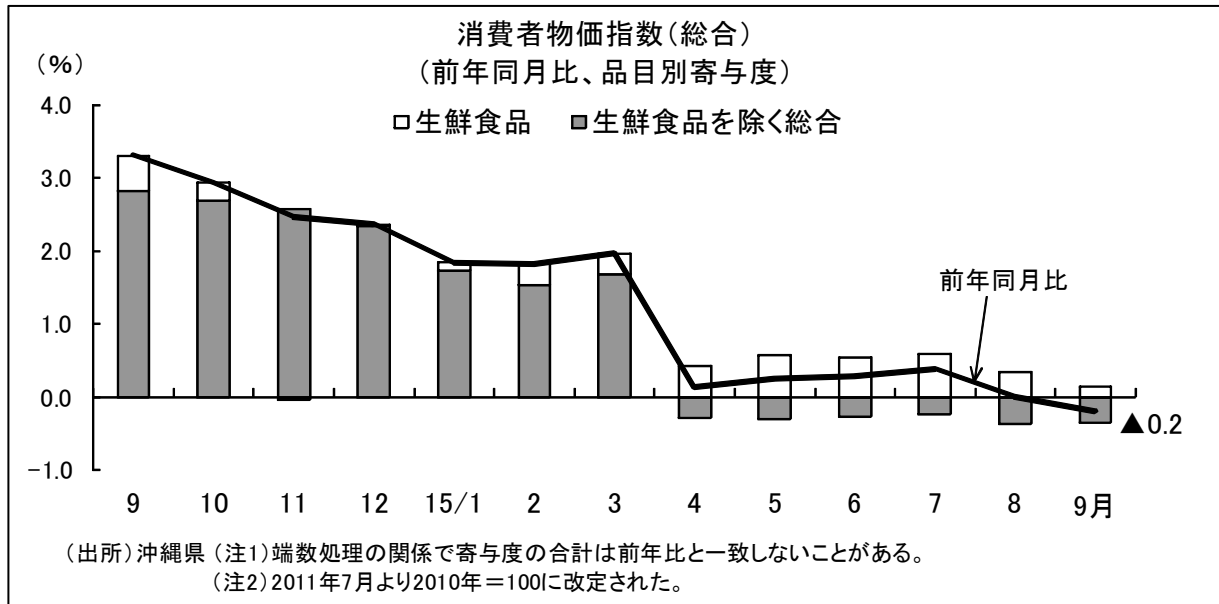
4. その他

(1) 雇用関連：新規求人数は減少、有効求人倍率（季調値）は上昇



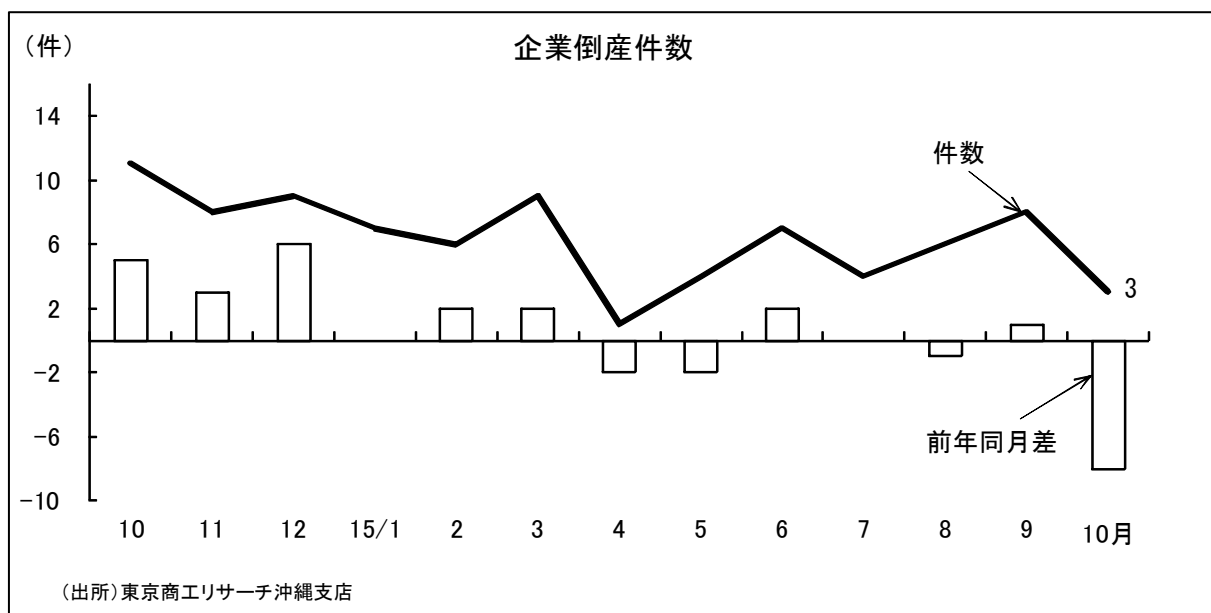
- 新規求人数（9月）は、前年同月比1.6%減となり10カ月ぶりに前年を下回った。産業別にみると、生活関連サービス業・娯楽業、サービス業などは増加したが、情報通信業、宿泊業・飲食サービス業などで減少した。有効求人倍率（季調値）は0.88倍と、前月より0.02ポイント上昇し、本土復帰以降の最高値を2カ月連続で更新した。
- 労働力人口（9月）は、70万1,000人で同4.5%増となり、就業者数は、66万5,000人で同5.4%増となった。完全失業者数は3万6,000人で同12.2%減となり、完全失業率（季調値）は5.1%と前月より0.5%ポイント悪化した。

(2) 消費者物価指数：28カ月ぶりに下落



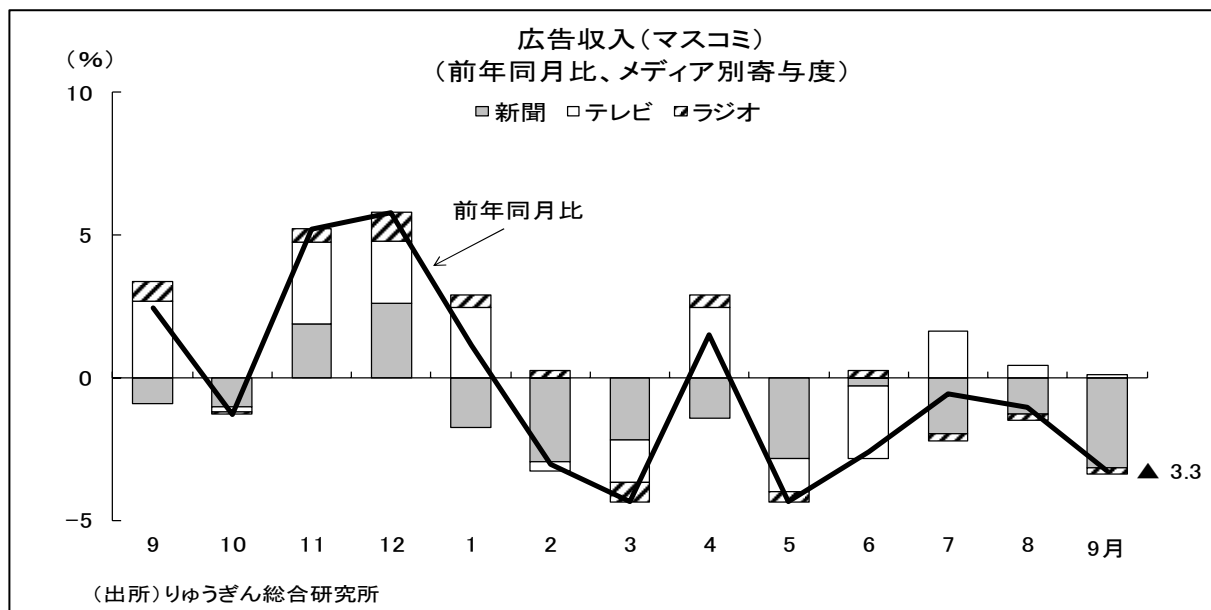
- 消費者物価指数（9月）は、前年同月比0.2%減と28カ月ぶりに前年を下回った。生鮮食品を除く総合は同0.4%減と前年を下回った。
- 品目別の動きをみると、食料や教養娯楽などが上昇し、交通・通信や光熱・水道などは下落した。

(3) 企業倒産：件数、負債総額ともに減少



- 倒産件数は、3件で前年同月を8件下回った。業種別では、建設業1件（同2件減）、製造業2件（同1件増）であった。
- 負債総額は、3億3,300万円となり、前年同月比57.0%の減少だった。

(4) 広告収入（マスコミ）：5カ月連続で減少



- 広告収入（マスコミ：9月）は、前年同月比3.3%減となり、5カ月連続で前年を下回った。

| | |
|-------------|----|
| 沖縄県内の主要経済指標 | 17 |
| 〃 金融統計 | 19 |

沖縄県内の主要経済指標(その1)

| 暦年 | 百貨店 売上高 | スーパー 売上高 (既存店) | スーパー 売上高 (全店) | 電気製品 卸売額 | 新車販売 台数 | 泡盛 出荷量 | 公共工事請負額 | | 建築着工床面積 | |
|--------|--------------|----------------------|---------------------|-------------|------------|-----------|------------------|-------|---------|-------|
| | 前年比 | 前年比 | 前年比 | 前年比 | 前年比 | 前年比 | 百万円 | 前年比 | 千平米 | 前年比 |
| 2012 | 1.4 | ▲1.3 | 1.3 | ▲13.4 | 30.0 | ▲0.7 | 237,692 | 1.7 | 1,768.4 | 3.9 |
| 2013 | 2.5 | 1.0 | 3.4 | 18.1 | 7.1 | ▲2.5 | 266,778 | 12.2 | 2,136.7 | 20.8 |
| 2014 | 6.9 | 2.5 | 3.3 | ▲6.2 | 7.8 | - | 294,689 | 10.5 | 2,097.5 | ▲1.8 |
| 2014 9 | 8.8 | 3.4 | 3.7 | ▲9.7 | 11.1 | 16.0 | 31,485 | 35.8 | 136.5 | ▲48.4 |
| 10 | 1.7 | 2.4 | 2.9 | ▲20.8 | ▲2.3 | - | 27,642 | ▲11.8 | 126.4 | ▲35.4 |
| 11 | 15.2 | 2.9 | 3.3 | ▲26.9 | 5.9 | - | 17,512 | ▲11.9 | 137.9 | ▲25.9 |
| 12 | 21.0 | 1.7 | 2.7 | ▲20.1 | 21.5 | - | 22,968 | 36.8 | 195.2 | 22.6 |
| 2015 1 | 16.3 | 1.8 | 2.7 | ▲29.1 | ▲13.6 | - | 14,359 | ▲28.4 | 126.7 | ▲11.6 |
| 2 | 21.0 | 3.7 | 4.8 | ▲29.6 | ▲1.4 | - | 25,384 | 17.1 | 155.3 | ▲17.5 |
| 3 | 3.5 | ▲6.4 | ▲5.2 | ▲20.6 | ▲1.4 | - | 53,096 | 151.7 | 143.2 | ▲36.1 |
| 4 | 32.8 | 11.8 | 13.8 | ▲2.4 | 1.3 | - | 11,991 | ▲47.8 | 207.4 | ▲38.9 |
| 5 | 25.0 | 7.0 | 10.0 | ▲7.6 | ▲9.1 | - | 12,215 | ▲37.9 | 159.3 | 18.2 |
| 6 | 10.8 | 4.5 | 7.3 | 13.5 | ▲10.7 | - | 34,358 | 74.0 | 189.9 | 12.8 |
| 7 | 14.2 | 1.1 | 4.5 | ▲4.1 | 15.5 | - | 33,472 | ▲28.3 | 162.4 | 20.2 |
| 8 | 32.7 | 5.5 | 8.6 | ▲6.6 | ▲2.1 | - | 23,352 | 0.8 | 222.9 | 32.4 |
| 9 | 17.3 | 3.6 | 6.8 | 2.4 | ▲6.6 | - | 30,835 | ▲2.1 | 158.9 | 16.5 |
| 10 | 12.3 | 3.2 | 6.4 | 13.8 | ▲6.1 | - | 48,301 | 74.7 | - | - |
| 出所 | りゅうぎん総合研究所調べ | | | | 自販協 | 酒造組 | 西日本建設業保証 沖縄支店 | | 国土交通省 | |

注) 百貨店売上高は、2014年9月より調査先が一部変更となった。泡盛出荷量の2014年6月は未公表。

注) 新車販売台数の出所は沖縄県自動車販売協会、泡盛出荷量は沖縄県酒造組合。

| 暦年 | 新設住宅着工戸数 | | 建設 受注額 | セメント 出荷数量 | 生コン 出荷数量 | 鋼材 売上高 | 木材 売上高 | 入域観光客数 | | 観光施設 入場者数 |
|--------|----------|-------|--------------|--------------|-------------|-----------|---------------------|---------|----------------|--------------|
| | 戸 | 前年比 | 前年比 | 前年比 | 前年比 | 前年比 | 前年比 | 千人 | 前年比 | 前年比 |
| 2012 | 12,713 | 7.5 | 3.4 | ▲0.7 | 3.6 | ▲6.1 | ▲7.0 | 5,835.8 | 7.8 | 6.2 |
| 2013 | 16,618 | 30.7 | 11.3 | 7.3 | 13.1 | 15.2 | 10.3 | 6,413.7 | 9.9 | 9.2 |
| 2014 | 15,426 | ▲7.2 | 10.7 | 18.3 | 4.6 | 9.4 | 9.1 | 7,056.2 | 10.0 | 6.7 |
| 2014 9 | 1,301 | ▲35.4 | ▲15.5 | 29.5 | 12.1 | 0.5 | 6.7 | 658.7 | 8.4 | 5.3 |
| 10 | 1,018 | ▲35.6 | ▲26.2 | 34.1 | 13.3 | 9.4 | 15.1 | 586.0 | 7.9 | 2.6 |
| 11 | 1,216 | ▲35.8 | 27.3 | 14.4 | 0.2 | ▲8.6 | 12.5 | 564.5 | 9.9 | 13.2 |
| 12 | 1,368 | ▲4.8 | 31.0 | 19.6 | 4.7 | 3.6 | 2.1 | 549.2 | 6.5 | 6.9 |
| 2015 1 | 1,181 | 10.9 | ▲57.8 | 16.9 | 5.9 | ▲4.9 | ▲6.1 | 530.1 | 7.1 | 6.8 |
| 2 | 1,338 | 3.1 | 37.3 | 6.6 | 3.3 | ▲17.1 | 1.0 | 550.9 | 9.5 | 7.0 |
| 3 | 980 | ▲36.4 | 103.6 | 9.8 | 2.5 | ▲12.8 | ▲10.6 | 659.0 | 4.6 | 1.2 |
| 4 | 1,172 | ▲17.3 | ▲55.9 | 2.1 | ▲6.1 | ▲5.0 | 12.7 | 635.4 | 12.3 | 5.3 |
| 5 | 1,254 | 12.4 | 97.8 | ▲12.5 | ▲16.9 | ▲17.0 | ▲10.9 | 611.4 | 8.9 | 8.9 |
| 6 | 1,828 | 27.7 | 97.9 | 3.1 | ▲0.2 | ▲0.5 | 5.6 | 610.0 | 9.5 | 7.6 |
| 7 | 1,362 | 16.2 | 28.9 | 20.6 | 25.5 | ▲12.0 | ▲6.4 | 714.0 | 9.2 | 7.7 |
| 8 | 1,764 | 19.0 | ▲32.9 | 11.5 | 8.7 | ▲21.0 | ▲15.0 | 797.5 | 8.8 | 6.1 |
| 9 | 1,527 | 17.4 | 100.2 | 5.3 | 5.0 | ▲6.3 | ▲2.2 | 724.7 | 10.0 | 10.9 |
| 10 | - | - | 58.9 | ▲0.2 | ▲5.9 | ▲11.5 | ▲14.2 | 696.8 | 18.9 | 13.6 |
| 出所 | 国土交通省 | | りゅうぎん総合研究所調べ | | | | 県文化観光スポーツ部 観光政策課 | | りゅうぎん 総合研究所 | |

注) 入域観光客数は、2011年以降の数値について混在率の変更により遡及修正した。Pは速報値。

注) 観光施設入場者数は、2011年1月より調査先が6施設から5施設となった。

沖縄県内の主要経済指標(その2)

| 暦年 | ホテル稼働率 (実数) | | ホテル売上高 (前年比) | | ゴルフ場 入場者数 | 広告 収入 | 入域観光客数 のうち外国客 | | 鉱工業生産指数 (季調値) | |
|--------|----------------|------|-----------------|------|--------------|----------|---------------------|------|------------------|------|
| | 市内 | リゾート | 市内 | リゾート | | | 前年比 | 前年比 | 千人 | 前年比 |
| 2012 | 69.4 | 71.1 | 3.4 | 4.1 | ▲1.2 | 4.3 | 376.7 | 34.5 | 96.3 | ▲0.5 |
| 2013 | 75.3 | 73.4 | 2.3 | 4.6 | 3.5 | 0.4 | 550.8 | 46.2 | 102.5 | 6.3 |
| 2014 | 79.0 | 77.8 | 5.1 | 5.0 | 0.7 | 4.0 | 893.5 | 62.2 | 104.6 | 2.0 |
| 2014 9 | 85.8 | 89.0 | 1.7 | 2.5 | ▲5.5 | 2.5 | 99.9 | 63.2 | 102.9 | 8.9 |
| 10 | 75.6 | 76.5 | 2.7 | 3.4 | ▲1.6 | ▲1.3 | 93.8 | 62.3 | 100.4 | 8.4 |
| 11 | 80.3 | 69.1 | 10.7 | 7.2 | 4.5 | 5.2 | 56.4 | 68.4 | 107.6 | 1.3 |
| 12 | 74.4 | 62.8 | 3.7 | 4.5 | 0.7 | 5.8 | 64.7 | 78.7 | 108.6 | 11.5 |
| 2015 1 | 76.7 | 74.1 | 8.8 | 3.0 | 5.3 | 1.2 | 67.9 | 41.2 | 99.7 | ▲2.1 |
| 2 | 92.2 | 85.1 | ▲0.1 | 4.8 | 4.1 | ▲3.0 | 86.7 | 95.7 | 100.8 | 10.2 |
| 3 | 84.4 | 79.9 | ▲6.9 | ▲2.0 | 3.4 | ▲4.3 | 79.0 | 62.2 | 103.7 | ▲6.0 |
| 4 | 81.1 | 78.7 | 5.2 | ▲0.3 | 3.5 | 1.5 | 130.6 | 76.7 | 104.4 | ▲0.1 |
| 5 | 72.3 | 71.8 | 9.3 | 10.8 | 5.7 | ▲4.4 | 133.7 | 45.8 | 96.2 | ▲9.2 |
| 6 | 76.5 | 75.7 | 2.5 | 0.3 | 3.4 | ▲2.6 | 149.2 | 56.2 | 99.6 | ▲0.4 |
| 7 | 86.0 | 87.4 | 7.1 | 3.2 | ▲5.7 | ▲0.6 | 163.0 | 76.6 | 104.9 | 1.8 |
| 8 | 87.1 | 87.2 | 10.0 | 4.3 | 3.5 | ▲1.0 | 154.7 | 83.7 | 97.1 | ▲5.1 |
| 9 | 89.3 | 89.1 | 16.3 | 14.4 | 4.8 | ▲3.3 | 149.6 | 49.7 | - | - |
| 10 | 82.9 | 86.0 | 14.9 | 19.2 | 21.3 | - | 145.1 | 54.7 | - | - |
| 出所 | りゅうぎん総合研究所調べ | | | | | | 県文化観光スポーツ部 観光政策課 | | 県企画部統計課 | |

注) ホテルは、2014年10月より調査先が25ホテルから27ホテルとなった。

注) 2012年5月より外国客の入域観光客数を掲載した。

注) 鉱工業生産指数の暦年値、前年比は原指数の増減率。2013年11月より2010年=100に改定された。

| 暦年 | 企業倒 産件数 | 負債総額 | | 消費者 物価指数 | 失業率 (季調値) | 就業者数 | 有効求人 倍率 (季調値) | 新 規 求人数 (県内) | 通関 輸出 | 通関 輸入 |
|--------|--------------|--------|---------|-------------|--------------|-------|---------------------|--------------------|----------|----------|
| | | 百万円 | 前年比 | | | | | | | |
| 2012 | 71 | 10,745 | ▲38.2 | 0.0 | 6.8 | 1.3 | 0.40 | 9.6 | 80,654 | 336,046 |
| 2013 | 79 | 38,418 | 257.5 | 0.3 | 5.8 | 2.4 | 0.53 | 17.0 | 83,423 | 309,989 |
| 2014 | 78 | 10,112 | ▲73.7 | 2.5 | 5.4 | 0.5 | 0.70 | 14.7 | 81,162 | 377,849 |
| 2014 9 | 7 | 808 | ▲16.8 | 3.3 | 6.0 | ▲1.4 | 0.74 | 28.9 | 4,726 | 30,298 |
| 10 | 11 | 774 | ▲82.3 | 2.9 | 5.5 | ▲0.5 | 0.75 | 21.3 | 12,214 | 37,837 |
| 11 | 8 | 487 | 16.2 | 2.5 | 5.6 | ▲0.5 | 0.77 | ▲2.7 | 1,457 | 17,824 |
| 12 | 9 | 806 | ▲79.4 | 2.4 | 4.9 | ▲0.8 | 0.78 | 21.7 | 5,406 | 23,983 |
| 2015 1 | 7 | 375 | ▲74.9 | 1.8 | 5.0 | ▲2.6 | 0.76 | 21.1 | 9,350 | 20,686 |
| 2 | 6 | 1,453 | 579.0 | 1.8 | 6.5 | ▲0.2 | 0.78 | 10.2 | 6,261 | 20,145 |
| 3 | 9 | 451 | 16.8 | 2.0 | 5.7 | 2.3 | 0.79 | 12.3 | 3,185 | 30,512 |
| 4 | 1 | 62 | ▲95.3 | 0.1 | 4.2 | 5.9 | 0.80 | 28.5 | 2,956 | 15,669 |
| 5 | 4 | 313 | ▲54.2 | 0.3 | 4.5 | 6.2 | 0.84 | 7.0 | 2,910 | 29,367 |
| 6 | 7 | 546 | ▲73.9 | 0.3 | 5.4 | 3.5 | 0.85 | 9.7 | 1,478 | 14,212 |
| 7 | 4 | 1,685 | 366.8 | 0.4 | 5.5 | 2.9 | 0.84 | 14.6 | 1,574 | 34,448 |
| 8 | 6 | 2,936 | 321.2 | 0.0 | 4.6 | 4.3 | 0.86 | 5.5 | 1,333 | 22,428 |
| 9 | 8 | 649 | ▲19.7 | ▲0.2 | 5.1 | 5.4 | 0.88 | ▲1.6 | 1,338 | 14,199 |
| 10 | 3 | 333 | ▲57.0 | - | - | - | - | - | 1,553 | 22,808 |
| 出所 | 東京商工リサーチ沖縄支店 | | 県企画部統計課 | | | 沖縄労働局 | | 沖縄地区税関 | | |

注) 消費者物価指数は、2011年7月より2010年=100に改定された。

注) 失業率と有効求人倍率は、2014年12月以前の数値について新季節指数へ遡って改訂した。

沖縄県内の金融統計

| 年度 | 銀行券 発行額 | 銀行券 還収額 | 銀行券 増減 (▲還収超) | 貸出 金利 (地銀3行) | 手形交換高(金額は億円) | | | | 不渡実数 (金額) | 不渡 発生率 |
|--------|------------|------------|---------------------|--------------------|--------------|-------|-------|-------|--------------|-----------|
| | 億円 | 億円 | 億円 | % | 千枚 | 前年比 | 金額 | 前年比 | 百万円 | % |
| 2012FY | 2,993 | 4,016 | ▲1,024 | 2.223 | 274 | ▲4.9 | 4,323 | ▲3.2 | 424 | 0.098 |
| 2013FY | 3,137 | 4,260 | ▲1,120 | 2.065 | 267 | ▲2.3 | 4,420 | 2.2 | 505 | 0.114 |
| 2014FY | 3,104 | 4,424 | ▲1,320 | 1.955 | 253 | ▲5.4 | 4,162 | ▲5.8 | 349 | 0.084 |
| 2014 9 | 213 | 402 | ▲189 | 1.975 | 23 | ▲2.9 | 399 | ▲13.4 | 105 | 0.262 |
| 10 | 257 | 371 | ▲114 | 1.972 | 21 | ▲3.4 | 342 | ▲1.9 | 4 | 0.010 |
| 11 | 198 | 279 | ▲81 | 1.966 | 17 | ▲8.9 | 252 | ▲6.3 | 3 | 0.011 |
| 12 | 582 | 214 | 368 | 1.955 | 22 | ▲3.2 | 342 | ▲3.7 | 0 | 0.000 |
| 2015 1 | 107 | 615 | ▲508 | 1.952 | 18 | ▲17.4 | 288 | ▲20.6 | 13 | 0.045 |
| 2 | 234 | 302 | ▲68 | 1.946 | 19 | ▲8.0 | 322 | ▲1.3 | 23 | 0.071 |
| 3 | 248 | 388 | ▲139 | 1.915 | 24 | 7.2 | 411 | 3.2 | 5 | 0.013 |
| 4 | 310 | 299 | 10 | 1.921 | 21 | ▲3.9 | 377 | ▲3.7 | 0 | 0.000 |
| 5 | 186 | 444 | ▲258 | 1.904 | 19 | ▲6.0 | 305 | ▲7.2 | 5 | 0.015 |
| 6 | 271 | 343 | ▲71 | 1.897 | 24 | ▲1.9 | 416 | 0.7 | 1 | 0.003 |
| 7 | 232 | 383 | ▲150 | 1.887 | 21 | ▲6.5 | 372 | ▲0.3 | 27 | 0.073 |
| 8 | 256 | 375 | ▲118 | 1.875 | 20 | 7.3 | 332 | 10.3 | 34 | 0.102 |
| 9 | 265 | 444 | ▲179 | 1.866 | 20 | ▲13.6 | 361 | ▲9.6 | 40 | 0.112 |
| 10 | - | - | - | - | 18 | ▲15.5 | 277 | ▲19.1 | 49 | 0.176 |
| 出所 | 日本銀行那覇支店 | | | | 那覇手形交換所 | | | | | |

注) 銀行券増減は、端数調整により一致しない場合がある。

注) 貸出金利は、暦年ベース。

注) 不渡発生率は、不渡実数(金額)÷手形交換高(金額)×100

| 年度 | 地銀3行預金量 (信託勘定含む末残) | | 地銀3行融資量 (信託勘定含む末残) | | 県内金融機関 の預金残高 | | 沖縄振興開発 金融公庫融資量 (末残) | | 沖縄県信用保証協会 債務残高(末残) | |
|--------|-----------------------|-----|-----------------------|-----|-----------------|-----|---------------------------|------|-----------------------|-------|
| | 億円 | 前年比 | 億円 | 前年比 | 億円 | 前年比 | 億円 | 前年比 | 億円 | 前年比 |
| 2012FY | 41,683 | 2.9 | 28,491 | 1.9 | 40,194 | 3.1 | 8,940 | ▲5.5 | 1,688 | ▲10.2 |
| 2013FY | 42,266 | 1.4 | 29,713 | 4.3 | 41,516 | 3.3 | 8,176 | ▲8.5 | 1,554 | ▲7.9 |
| 2014FY | 44,575 | 5.5 | 31,332 | 5.5 | 42,849 | 3.2 | 8,152 | ▲0.3 | 1,391 | ▲8.8 |
| 2014 9 | 43,664 | 3.1 | 30,151 | 5.8 | 43,665 | 3.1 | 8,058 | ▲4.4 | 1,435 | ▲8.9 |
| 10 | 42,892 | 3.7 | 29,953 | 6.2 | 43,210 | 3.3 | 8,028 | ▲4.3 | 1,420 | ▲10.4 |
| 11 | 43,678 | 4.3 | 30,051 | 6.2 | 43,482 | 3.6 | 7,989 | ▲4.3 | 1,404 | ▲10.8 |
| 12 | 43,644 | 4.4 | 30,395 | 5.9 | 43,627 | 3.8 | 7,939 | ▲5.8 | 1,412 | ▲10.3 |
| 2015 1 | 43,306 | 5.0 | 30,412 | 5.7 | 43,589 | 4.4 | 7,915 | ▲5.6 | 1,404 | ▲10.1 |
| 2 | 43,596 | 5.6 | 30,606 | 5.6 | 43,177 | 4.3 | 7,889 | ▲5.4 | 1,393 | ▲10.3 |
| 3 | 44,575 | 5.5 | 31,332 | 5.5 | 43,547 | 4.7 | 8,152 | ▲0.3 | 1,391 | ▲8.8 |
| 4 | 44,875 | 4.5 | 30,575 | 5.4 | 44,496 | 4.3 | 8,108 | 0.1 | 1,341 | ▲8.5 |
| 5 | 45,025 | 4.2 | 30,721 | 5.3 | 44,596 | 4.4 | 8,070 | 0.1 | 1,314 | ▲6.7 |
| 6 | 45,281 | 5.0 | 30,802 | 5.0 | 45,243 | 4.3 | 8,011 | 0.4 | 1,301 | ▲9.8 |
| 7 | 45,079 | 4.4 | 30,969 | 5.0 | 45,653 | 5.0 | 7,931 | ▲0.1 | 1,297 | ▲9.4 |
| 8 | 45,012 | 3.9 | 31,121 | 5.1 | 45,584 | 5.4 | 7,902 | ▲0.3 | 1,290 | ▲9.7 |
| 9 | 45,243 | 3.6 | 31,637 | 4.9 | 45,923 | 5.2 | 7,801 | ▲3.2 | 1,310 | ▲8.6 |
| 10 | 45,108 | 5.2 | 31,372 | 4.7 | - | - | - | - | 1,308 | ▲8.6 |
| 出所 | 沖縄県銀行協会 | | 沖縄県銀行協会 | | 日本銀行那覇支店 | | 沖縄振興開発金融 公庫 | | 沖縄県信用保証協会 | |

注) 県内金融機関の預金残高は、14年6月分より県内に所在する国内銀行および信用金庫の集計値へ変更になったため遡及改訂した。

なお、県内金融機関の預金残高は実質預金(総預金から切手・小切手を差し引いたもの)の集計値で、年度の残高は年度中の平残。